

ごみ収集・減量アクションプラン 始動!

もえるごみ袋 増額の方針を見直します

問 環境課 ☎56-0612

長久手市では、ごみ減量に効果がある施策の1つとしてもえるごみ袋増額を検討していました。市は今後の方針を、昨年実施した地域意見交換会で参加者からいただいた意見や要望を踏まえ、資源回収拠点の増設などの新たな施策や、ごみ減量の啓発を強化するなど検討し、次のように見直しました。

今後の方針

01 もえるごみ袋増額に関する議案の提出を一旦見送り、まずは年内に「長久手市ごみ収集・減量アクションプラン」を作成します!

ごみ減量や分別、収集に関する施策や市民がごみ減量に取り組みやすい環境づくり、市民への啓発強化など市民に受け入れられる取り組みを考えます。

02 次期一般廃棄物処理基本計画(R6～15)にごみ減量目標や検証時期を明記し、期間を定めてごみ減量状況を検証します!

減量目標が達成されなかった場合はもえるごみ袋の価格の増額を検討します。
目標が達成された場合であっても常時状況調査を継続して行い、目標から乖離する状況になった場合には価格の増額を検討します。

今年度のごみ収集・減量への取り組み

2022年度の実施施策

- 啓発・意識向上**
 - 広報ながくて2021年6月号、8月号、10月号、12月号、2022年8月号に特集記事「ごみ減量大作戦」(第1回～第5回)を掲載
 - 「ながくてごみ減量化通信」を毎月発行し自治会へ回覧中
 - ごみ収集・減量アクションプランの地域説明会を開催予定
- 収集の充実**
 - 拠点回収用ごみボックス貸与事業を9月から開始し、希望団体に貸し出しています。(今年度は100個貸与予定)
- 資源化**
 - 分別品目として「充電5品目」を4月から追加
 - 資源回収拠点(エコハウス機能)を11月から西小校区共生ステーションで開始予定
※今年度、他1か所市内に設置予定



これからのごみ収集・減量への取り組み

長久手市ごみ収集・減量 アクションプランの内容

2023年度に実施する施策例

- 啓発・意識向上** ペットボトルのリサイクル工程や水育(水の大切さを学ぶ)など環境学習の強化
- 収集の充実** 収集時間の短縮
※収集開始時間は変わりません。
- 資源化** 収集したペットボトルを新たなペットボトルに再生する水平リサイクルの実施
- その他** 食品ロス削減推進計画を策定し、次期一般廃棄物処理基本計画の中に盛り込みます



中長期的に実施する施策例(案)

- 収集の充実**
 - プラスチック製容器包装の回収を隔週→毎週に拡充
 - ペットボトルの回収を夏季(7～9月)のみ月2回→通年月2回に拡充
 - 古紙の回収を月1回→月2回に拡充
 - プラスチック製容器包装指定袋の中サイズ作製
 - 紙おむつ専用ごみ袋の作製
- 資源化**
 - プラスチック製品とプラスチック容器包装の一括回収
 - もえるごみに分類されている剪定枝のリサイクル



ごみの減量は温室効果ガス削減に効果的!
ごみを焼却すると温室効果ガスが発生し、地球温暖化につながります。ごみを減量して温暖化に歯止めをかけましょう。

例えば 長久手市のごみを年間15%減量すると
⇒ 学校の25mプール約500杯分510.7t相当の温室効果ガスの減量効果が!

まずは 日ごろの収集に対する課題解決のための施策や、市民のみなさんがごみ減量に取り組みやすい環境づくりに市が取り組みますので、市民のみなさんもおごみの減量や分別にご協力ください。

[11月10日(木)～16日(水)アルコール関連問題啓発週間] 節度ある適度な飲酒は1日平均純アルコール20g(ビールで中ビン1本、日本酒で1合程度)です。健康のために、飲酒習慣をもう一度振り返りましょう。 問 健康推進課 ☎63-3300